

令和3年度防災訓練の実施結果について

1. 実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
2. 訓練内容 下記メニューから選択
《メニュー》
防災講話、災害図上訓練（DIG、LET）、災害・避難カード作成講習、家具転倒防止器具取付け講習会、子ども向け防災授業、防災グッズ作り、ポリエチレン袋料理、初期消火訓練、煙体験、救命救急講習、地震体験、搬送訓練 など
3. 実施回数 28回（地区3回、教育関係2回、各種団体23回）
参加人数 426人
（参考：コロナ禍前：令和元年度 訓練回数36回、参加人数1743人）
※詳細は「令和3年度（小規模）防災訓練実施一覧」のとおり
4. 訓練実施状況



ジュニア防災リーダー養成講座
（災害・避難カード作成講習）



土岐地区「学ぼうさい」
（防災講話とAED講習）



瑞浪地区防災訓練（地震体験）



瑞浪地区防災訓練
（マンホールトイレ組み立て訓練）

5. マイタイムライン『災害・避難カード』作成ワークショップ（机上型訓練）について

(1) 概要

国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所 が令和2年5月29日に「庄内川水系小里川（ダム下流）浸水想定図」を公表したことに合わせて、小里川ダム下流地域の区長が、一人ひとりのマイタイムライン『災害・避難カード』を作成するワークショップを実施しました。このワークショップを通して、小里川ダムの洪水調節機能とその限界を知り、自らの命を守る避難行動ができるようになることを目指しています。

(2) 日時・場所

令和3年10月18日（月）19時～ 稲津コミュニティーセンター

(3) 主催

国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所
瑞浪市

(4) 協力団体

みずなみ防災会

(5) 参加者

「小里川浸水想定図」の浸水域に含まれる稲津町内10地区の各区長、稲津町区長会長、「明日の稲津を築くまちづくり推進協議会」理事長、地元市議

(6) 取組の方向性

令和4年度以降も継続し、地域の防災リーダーが中心となった住民参加型ワークショップに拡大していきます。

